

各指標の共通事項

1) 対象病院

- DPC 対象病院（準備病院も含む）となっている施設を対象とする。

2) 調査データ

- 厚労省調査用の「形式チェックプログラム」による点検を行ったのち、暗号化される前のテキストファイルを活用。

調査票	期間
様式 1	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月退院分
D ファイル、入院 EF ファイル	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月分

3) 分析の対象外とするもの

- 自費、医科保険外の患者
- 入院期間中の EF ファイルがない患者
- 退院日当日に再入院した患者
- 様式 1 の生年月日、入院年月日、退院年月日が誤っている患者
- 様式 1 の医療資源を最も投入した傷病名に DPC が該当しない患者（例：正常分娩 O80\$等）
- 様式 1 の対象となる精神病棟、その他の病棟に転棟した患者

4) 手術「有」となる場合の取り扱い

- 様式 1 の手術情報に入力があったものを手術「有」とする。
ただし、以下のものは入力があっても手術「有」とみなさない。

点数表コード	術名
K907	胎児外回転術
K908	胎児内（双合）回転術
K913\$	新生児仮死蘇生術
K914	脳死臓器提供管理料
K915	生体臓器提供管理料
K920\$	輸血
K920-2\$	輸血管理料

5) 入院期間の取り扱い

- 入院期間は、外泊を除いた在院日数とする。

<計算式>

在院日数 = 退院年月日 - 入院年月日 + 1 - 外泊した期間

- 臨床評価指標の算出で用いた入院期間は、患者が DPC 算定病棟に入院している間の在院日数となる。
このため、DPC 算定病床以外の病床に入院している間の在院日数は含まれない。